

安全データシート

1. 製品及び会社情報

①製品の名称 : ナルファルト不織布
②会社名 : 成瀬化学株式会社
③住所 : 三重県亀山市関町木崎 1703-3
④担当部門 : 工場
⑤電話 : 0595-96-1411
⑥FAX : 0595-96-0079
⑦緊急連絡先 : 本社 0595-97-8300
⑧推奨用途及び使用上の制限 : 塗膜防水用補強シート
⑨作成・改定日 : 2016年3月1日

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名 : ポリエチレンテレフタレート
別名 : ポリエステル、PET
含有量 : 75%以上
化学特性(化学式) : $-(\text{-COC}_6\text{H}_4\text{COOCH}_2\text{CH}_2\text{O-})_n-$
CAS 番号 : 25038-59-9
官報公示整理番号 化審法 : 7-1022
安衛法 : 公表

化学名 : アクリル酸エステル共重合物
含有量 : 25%以下
化学特性(化学式) : $-(\text{-CH}_2\text{CHCOOR-})_n-$
CAS 番号 : 公開されず
官報公示整理番号 化審法 : 有り(公開されず)
安衛法 : -

危険有害成分 1%以上の危険有害成分および 0.1%以上の発がん性物質を含まない。

化学物質管理促進法
指定化学物質(政令番) 該当しない。
労働安全衛生法
通知対象物(政令番) 該当しない。
毒物劇薬取締法
毒物・劇薬(政令番) 該当しない。

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響
有害性 通常の状態では人の健康に対する有害な影響は小さい。
物理的及び化学的危険性 可燃性物質であり、着火源があれば燃える。
(消防法 指定可燃物)
特定の危険有害性 燃焼/熔融などの高温でアセトアルデヒドなどの有害ガス

成瀬化学株式会社

作成日時:2011.2.1

分類の名称
(分類基準は日本方式)

が発生する可能性がある。
分類基準に該当しない。

4. 応急措置

吸入した場合 : 溶融物等から発生するガスを吸って気分が悪くなった場合には、直ちに新鮮な空気の場所に移し、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 溶融物の場合は直ちに大量の清浄な水で冷やす。皮膚上の固まった樹脂は無理にははがさず、医師に診断を受ける。

眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分以上洗い、不快感が残る場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : できるだけ吐き出させ、異常がある場合は、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤。

特定の危険有害性 : 不完全燃焼すると一酸化炭素、アセトアルデヒド等の有害ガスを発生する。

特定の消火方法 : 風上から、水や炭酸ガス等により消火する。

消火を行う者の保護 : 大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 人体に対する危険有害性は小さいと考えられる。

環境に対する注意事項 : 環境への影響は小さいが、長期間残留すると考えられるので環境中に廃棄しない。

除去方法 : 箒や掃除機等で全量回収する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 常温では引火性はないが、消防法指定可燃物であり、近くでみだりに火気を使用しない。

注意事項 : 粉塵の発生や溶融を伴う作業をするときは、換気を十分行う。

安全取扱い注意事項 : ロール状物は重量物のため、落下しないように注意する。

保管

適切な保管条件 : 消防法指定可燃物であり、市町村条例に従う。
(消火設備、屋内貯蔵、取扱所など)
重量物のため荷崩れを防ぐ。
強酸化剤、濃硫酸、フェノール類と隔離して保管する。

安全な容器包装材料 : 紙またはポリエチレンフィルム。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 溶融を伴う作業等がある場合は溶融樹脂と作業者の間に隔壁を設ける。

許容濃度(作業環境中) : ホルムアルデヒド

WHO指針 : 30分の平均値 : 0.08ppm(0.1mg/m³) 空气中

厚生労働省指針 : 30分の平均値 : 0.08ppm(0.1mg/m³) 空气中

日本産業衛生学会 PEL : 0.5ppm (0.61mg/m³)

ACGIH	TLV Ceiling:0.3ppm(0.37mg/m ³)
OSHA	PEL TWA(8hr):0.75ppm(0.9mg/m ³), STEL(15min):2ppm
NIOSH	REL TWA(10hr):0.016ppm, Ceiling(15min):0.1ppm

保護具

呼吸器の保護具	: 粉塵が多い場合は防塵マスクの着用が望ましい。
手の保護具	: シートによる擦過傷を防止するため保護手袋を着用する。
眼の保護具	: 粉塵が多い場合は保護眼鏡の着用が望ましい。
皮膚及び身体の保護具	: シートによる擦過傷や、溶融を伴う作業等では保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状	: 固体 ロール状
色	: 白色
臭い	: 無臭
pH	: 該当しない。
融点	: 255°C~260°C PET
分解温度	: 480°C以上 PET
引火点	: 346~400°C PET
発火点	: 480°C以上 PET
爆発特性	: なし
密度	: 1.35~1.40g/cm ³ (23°C)
溶解性	: 水 不溶 PETは通常の溶剤に不溶 濃硫酸、フェノール類 溶解

10. 安定性及び反応性

安定性	: 常温、単独では安定である。
反応性	: 溶融などの高温では一部熱分解する。着火源があれば燃える。
避けるべき条件	: 高熱、炎
避けるべき材料	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 溶融、燃焼などの高温ではアセトアルデヒド、ホルムアルデヒド等が発生する。

11. 有害性情報

急性毒性(LD ₅₀ 等)	: 具体的なデータはないが、急性毒性は低いと考えている。
局所効果	: 具体的なデータはないが、皮膚刺激性は低いと考えている。
皮膚、目	: ホルムアルデヒドは2~3ppmで鼻やのどに刺激、4~5ppmで不快感覚える。

12. 環境影響情報

移動性	: ないと考えられる。
残留性/分解性	: 生分解性なく安定で、環境中に長期間残留すると考えられる。
生体蓄積性	: ないと考えられる。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄物処理法の産業廃棄物に該当する。産業廃棄物処理業者若しくは地方公共団体が処理を引き受けている場合には地方公共団体に委託。焼却するときは、管理された焼却設備を用いて、廃棄物処理法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法等に従って処理する。
- 汚染容器・包装 : 残余廃棄物と同じ。

1 4. 輸送上の注意

- 国連分類 : 国連勧告の定義上の危険物には該当しない。
- 国内規制 : 輸送に関する法規制には該当しない。
- 輸送の特定の安全対策及び条件 : 重量物のため、転倒、落下がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
破袋の恐れがあるので、水濡れや、乱暴な取扱いはしない。

1 5. 適用法令

- 消防法 : 指定可燃物
- 廃棄物処理法 : 産業廃棄物、廃プラスチック類
ホルムアルデヒド
- 家庭用品規制法 : 繊維製品 : 75ppm 以下 (乳幼児用は不検出)
- 水道法 : 水質基準、監視項目 : 0.08mg/以下

1 6. その他の情報

- 引用文献 JIS Z 7253 (2012) 「GHSに基づく化学品の危険有害情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート」
化学工業日報社 SDS、ラベル作成実務入門
<GHS、JIS Z 7253 対応>
GHS、SDSに関するホームページ

*注意

安全データシートは危険有害な化学製品について安全な取扱いを確保するための参考条件として取扱い事業者提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用されるようお願いします。

記載した内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により改定されることがあります。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。本製品を使用するに当たって提供された情報を適用するかどうかの最終的な決定は使用者の責任で行ってください。全ての物質は未知の危険性を呈する可能性があり、ここで示した危険性は起こり得る全ての危険性を網羅したものであるということを保証するものではありません。従って、本データそのものは安全の保証書ではありません。

以上